

平成 28 年度経営評価に関する提言

大阪市外郭団体評価委員会（以下「委員会」という。）は、平成 28 年度の外郭団体（以下「団体」という。）への経営評価について、平成 27 年度の経営目標の達成状況及び市の評価・助言等並びに平成 28 年度の経営目標の設定に関する団体及び所管局へのヒアリングを実施し、審議を行った。

これを踏まえ、委員会は、経営評価の実施に関する課題と今後の改善点について、以下のとおり意見を述べる。

大阪市においては、委員会による意見を踏まえ、経営評価のさらなる改善を進めるとともに、引き続き、団体の適正な監理に努められたい。

記

1. 平成 28 年度経営目標の設定について

平成 28 年度の経営目標における成果測定指標の目標値については、前年度実績値を下回る数値を設定している団体が散見されたが、前年度実績値を維持することは勿論、安易に過年度の実績を下回る数値を設定するのではなく、より高い目標値を設定し、その実現に向けて最大限に尽力することが団体の経営改善に貢献すること、現状維持では成長は期待されないことを認識すべきである。

次に、平成 26 年度及び平成 27 年度の 2 カ年連続で合計点数が満点であった団体については、目標数値が現状維持的でなかったか、仮に前年度実績を上回る数値を設定しているとしても、達成が容易な目標値を設定していなかったかを自省する必要がある。平成 28 年度経営目標においても満点であった場合には、目標値設定の合理性について検証する必要がある。なお、年度ごとに実績値が大きく変動する事業の場合は、3 カ年実績の平均を目標値として設定することも認める。

また、経営評価については、団体の継続性や安定性の視点で評価することが重要であるため、成果測定指標には、相対的な比率ではなく、財務等の金額に関するもの等絶対的な数値を設定すべきである。

更に、約定どおりの借入金の返還額等、団体の努力目標として不相応な内容については、成果測定指標に設定すべきではない。

成果測定指標の目標値は、数値によることが望ましいが、数値以外を設定する場合は、その達成条件を他者が客観的に認識できるように明確にする必要がある。

以上のことから、各団体は、経営目標の設定にあたって、その重要性や実現性を十分に認識し、より高次のしかも実現可能な、かつ認識可能な数値を設定されたい。

2. 平成 27 年度経営目標の達成状況評価について

各団体は、成果測定指標の設定とあわせて、個々の目標値を達成した場合の点数（ウエイト）を設定しているところであるが、著しく高い点数（ウエイト）を設定していた成果測定指標が未達成になったために、合計点数が低くなった団体が見受けられた。

また、各成果測定指標の得点の算出方法について、前年度実績値を上回る目標値を設定した場合に限り、部分点を得られる仕組みになっているが、前年度実績値を下回る目標値を設定した場合又は前年度実績値が存在しない場合は、部分点を得ることができないことから、当年度実績値が目標値にわずかに及ばなかったため、得点が全く得られなかったケースが見受けられた。

以上のことから、団体運営の実績としては良好な結果を示しているにもかかわらず、点数に結びつかなかった団体が存在するなど、今回の点数（ウエイト）とその点数の結果は、団体の実績が的確に反映されているとは言い難い状況である。

この状況を踏まえ、今後は、団体の実績が結果に正しく反映され、団体運営の評価が的確に実施できるよう経営評価制度を見直すとともに、各団体においては、制度について十分に理解した上で取り組まされたい。

なお、今回の経営目標の達成状況評価における点数（ウエイト）とその点数の結果については、形式的に点数を公開することにより、団体の運営及び大阪市の意思決定に影響するおそれがあることから、非公開として取り扱われたい。

平成 28 年 9 月

(大阪市外郭団体評価委員会委員)

阿多 博文

上島 健二

香川 芳江

滋野 由紀子

三原 秀章

(50 音順)